

事務事業名		図書館運営事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	教育委員会事務局
総合計画体系	基本政策	4	ふるさとを学び育つ文化のまちづくり	課・室	図書館
	政策	02	社会教育・生涯学習の充実	係	
	施策	01	社会教育・生涯学習の充実	内線電話	8005
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	4項	社会教育費	実施期間	
	目	4目	図書館費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	図書館利用者	意図（どのような状態にしたいのか）	蔵書紹介企画展示の充実、工作教室の開催を通じて図書館への関心を持っていただく。
		図書館利用者		蔵書を保育園、子育て支援センターなどの施設へ配置して身近なところで図書館の蔵書を利用できるようにする。
現状・課題	平成5年に開館して順調に貸出冊数が増加していたが、平成20年の19万3千冊をピークに貸出冊数が減少している。			
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	図書館法、中野市立図書館条例・同施行規則		
事務事業概要	子ども本読み聞かせ会の開催、文学講座の開催、創作教室の開催、図書館プチキネマの開催、図書館まつりの開催、絵本おはなし会の開催、学習室の開放、施設への蔵書配置の実施			
令和2年度の活動指標 アウトプット	活動内容		活動量	
	子どもの本読み聞かせ会		12回	
	文学講座		2回	
	工作教室		6回	
	図書館プチキネマ		12回	
	絵本おはなし会		65回	

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	39,699,000	28,435,000
補正・流用等		円			—	
合計		円	39,699,000	28,435,000	27,342,000	
決算（見込）額 A			円	38,437,085	28,435,000	—
財源内訳	国庫支出金		円			
	県支出金		円			
	市債		円			
	その他特定財源		円			
R2は予算額	一般財源		円	38,437,085	28,435,000	27,342,000
正規職員数			人	2.62	2.27	1.36
人件費 B			円	16,857,080	14,623,340	8,761,120
総事業費 A+B			円	55,294,165	43,058,340	36,103,120
市民1人当たりコスト			円	1,293	1,012	852

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
図書の貸出冊数		減少	目標	177,000	冊	177,000	冊	175,000	冊
			成果	167,243	冊		冊	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値を設定した理由	多くのみなさまに利用していただくように、図書の貸出冊数を目標とした。								

令和2年度の実施方針	効率的に実施	活動量	増やす	コスト	維持する	成果	上げる
	文学講座、おはなし会などを開催して図書館へ出向く機会を増やす。保育園や子育て支援センターなどのに蔵書を配置して図書にふれる機会を増やす。						

